

第5編 地域別計画

東部地域

北部地域

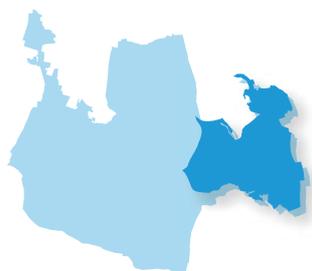
南部地域

西部地域



東部地域

東部地域のデータ

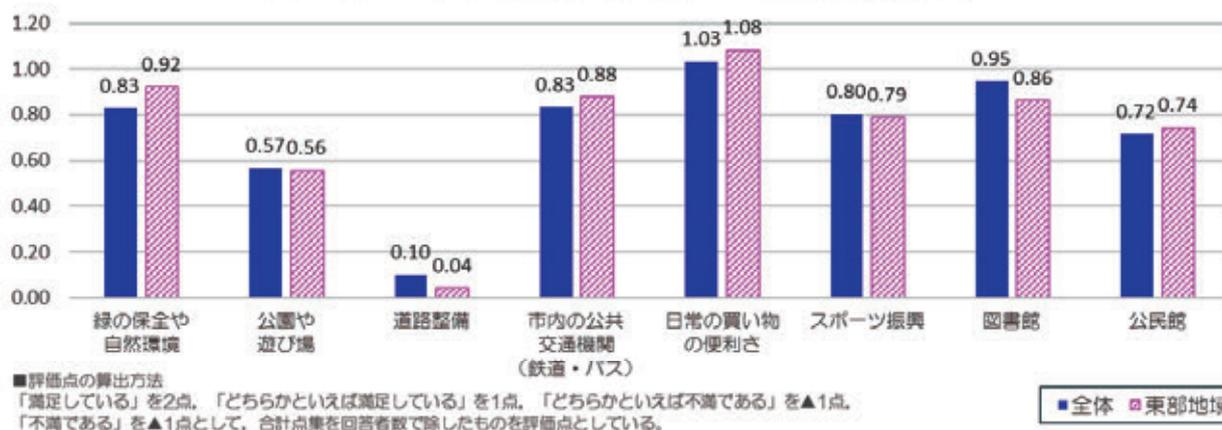


地域範囲	菊野台1～3丁目, 東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目, 入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目, 緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目
地域人口	60,063人 (令和5年1月1日現在)
地域世帯	32,116世帯 (令和5年1月1日現在)

東部地域の現状と課題

- 東部地域は、都心に近い交通の利便性と仙川や野川の水辺環境に加え、農地や崖線の緑に恵まれたうるおいのある都市環境を有する地域です。
- 桐朋学園や白百合女子大学、武者小路実篤記念館やせんがわ劇場などの教育文化施設が立地するほか、仙川商店街をはじめ商業施設の集積度も高く、にぎわいと文化芸術を身近に感じられるまちづくりが進んでいます。さらに、スマート農業・ドローン・eスポーツなど様々な分野の先端技術を実証・体感できる施設がNTT研修センター内にオープンし、様々な分野におけるICTを活用した新たな共創や地域・産業のDX化、創業支援など、地域課題の解決に向けた市や民間事業者等との連携が期待されます。
- 令和3年4月に、踏切道改良促進法に基づき、仙川駅から国領駅間の5箇所の踏切が改良すべき踏切道の指定を受けたことから、国や東京都、鉄道事業者との協議、調整を図りながら、仙川駅から国領駅間における連続立体交差事業を促進し、東部地区における交通環境の改善に取り組んでいく必要があります。
- 市民意識調査では、「緑の保全や自然環境」に加え、「市内の公共交通機関」「日常の買い物の便利さ」に対する満足度が高く、生活面での利便性が評価されています。

東部地域における市民満足度（令和4年度市民意識調査）



東部地域におけるまちづくりの方向

◆東部地区における交通環境の改善と沿線まちづくりの推進

つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺における開かずの踏切の解消に向け、国や東京都をはじめ、関係機関との協議・調整を図りながら、当該区間における連続立体交差事業を促進し、駅周辺における利便性向上や歩行者、自転車の安全確保など、交通環境の改善に取り組みます。あわせて、地域住民とまちづくりの将来像を共有しながら、沿線まちづくりを推進します。

◆神代出張所の機能移転・跡地活用の検討

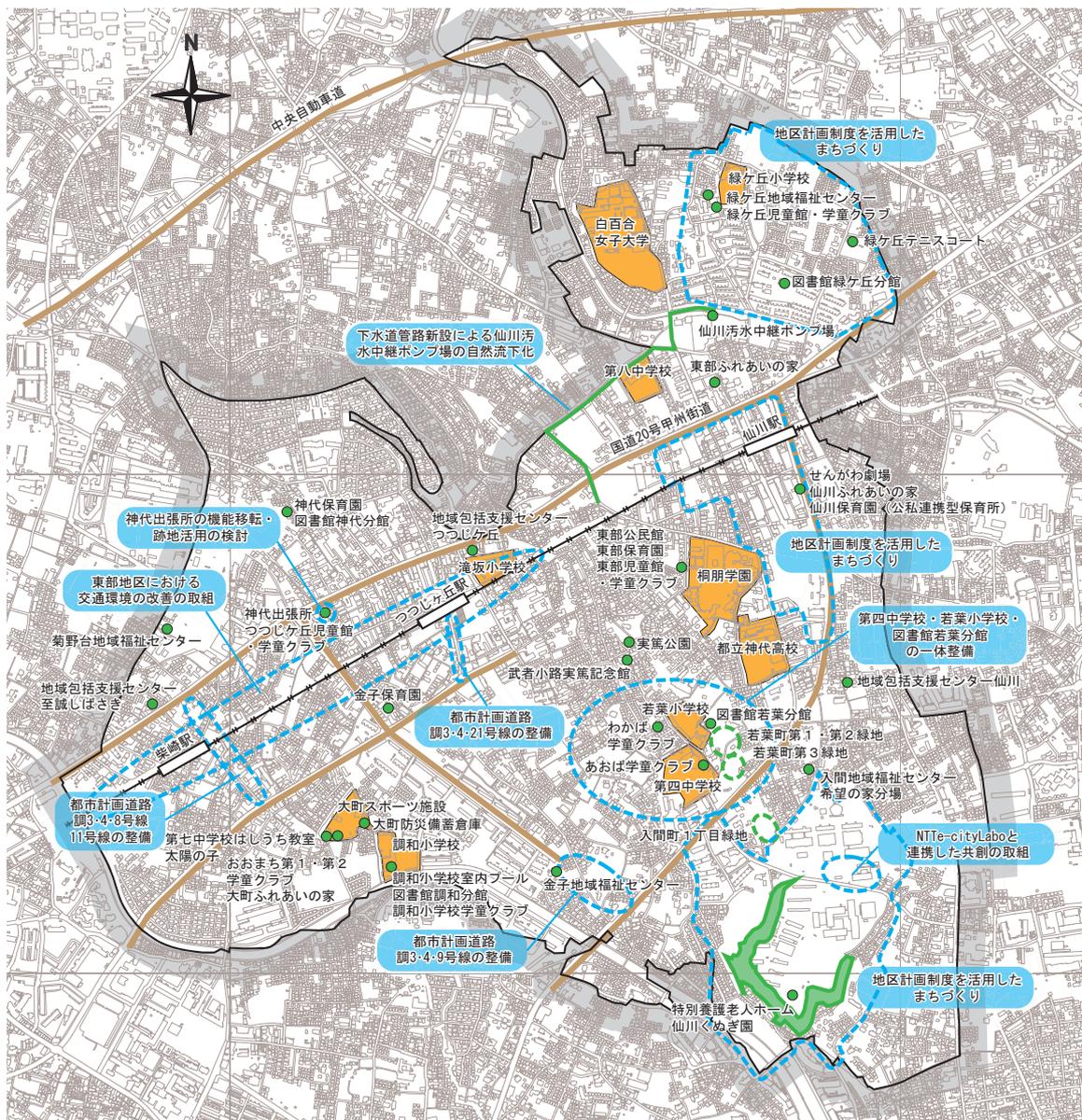
神代出張所における老朽化や狭あい化、バリアフリー化などの課題への対応として、つつじヶ丘駅周辺への機能移転の検討を進めていきます。あわせて、神代出張所の機能移転後の跡地活用について、民間活力の活用をはじめとする市の公共施設マネジメントに関する基本的な方針などを踏まえ検討していきます。

◆地域ゆかりの文化を生かした事業の展開

郷土の歴史・文化遺産と武者小路実篤の文学・芸術活動等について、資料の調査・研究・収集・保存を進めるとともに、展示や講座・講演会を開催して普及・啓発に努めます。

◆第四中学校・若葉小学校・図書館若葉分館の一体整備

学校施設の老朽化及び不足教室への対応、施設機能の集約・複合化や民間活力活用をはじめとする市の公共施設マネジメントに関する基本的な方針への対応として、第四中学校及び若葉小学校、図書館若葉分館の一体整備を進めます。



「この地形図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)4都市基交著第135号,4都市基交測第207号」